

演題番号	受付番号	セッション名	時間	演題名
O-032	11186	薬剤副作用としての糖尿病①	8：50～9：30	2型糖尿病の経過中に抗PD-1抗体で劇症1型糖尿病を新規発見した1例
O-033	11051			緩徐進行様の経過を示した免疫チェックポイント阻害薬関連 1 型糖尿病の 1 例
O-034	11215			irAEとして続発性副腎皮質機能低下症の後に1型糖尿病を発症した1例
O-035	11120			ICI関連副腎不全・肺臓炎に伴った抗GAD抗体・抗ZnT8抗体陽性急性発症1型糖尿病の一例
O-036	11029	薬剤副作用としての糖尿病②	9：30～10：10	ニボルマブによる劇症1型糖尿病とirAE末梢神経障害を発症した1例
O-037	11042			免疫チェックポイント阻害薬によるirAEとしての関節炎に1型糖尿病を合併した一例
O-038	11162			当院で経験した免疫チェックポイント阻害薬による1型糖尿病5例の検討
O-039	11195			免疫チェックポイント阻害薬関連1型糖尿病にインスリン分子へのT細胞反応を認めた1例
O-040	11157	薬剤副作用としての糖尿病③	10：10～10：50	カピバセルチブ使用による高血糖発症に対しインスリン治療が治療継続へ繋がった一例
O-041	11171			カピバセルチブ投与直後に高血糖を来した1例
O-042	11012			カピバセルチブによる薬剤性糖尿病の一例
O-043	11032			乳癌に対してカピバセルチブ投与後に多型紅斑と高血糖を認めた一例
O-044	11237	薬剤副作用としての糖尿病④	10：50～11：30	カピバセルチブによる高血糖緊急症の一例
O-045	11227			CGMにより解析したAKT阻害薬カピバセルチブがもたらす血糖変動の特徴
O-046	11076			アザシチジン投与後に著明な高血糖を呈した骨髓異形成症候群合併糖尿病の一例
O-047	11182			非定型抗精神病薬プレクスピプラゾールの開始を契機にHHSを発症した一例
O-048	11021	薬剤副作用としての糖尿病⑤	13：50～14：30	エンホルツマブ ベドチンによる高血糖を生じた膀胱癌の1例
O-049	11218			尿管癌へベムプロリズマブ・エンホルツマブベドチン併用後に生じた高血糖緊急症の1例
O-050	11200			免疫グロブリン製剤投与後に一過性に抗GAD抗体陽性となった心疾患の3例
O-051	11113			発症直前のCTで一過性腓腫大を確認し得た、アテゾリズマブ関連劇症1型糖尿病の1例
O-052	11044	治療（インクレチン関連薬）①	14：30～15：20	痩身目的に処方されたチルゼパチド使用で縦隔気腫を来した若年女性の 1 例
O-053	11183			チルゼパチドの副作用に伴う消化器症状により急性腎不全をきたした一例
O-054	11043			チルゼパチドの13倍量投与後に麻痺性イレウスを発症した一例
O-055	11128			チルゼパチド投与後に急性胆嚢炎を発症した2型糖尿病の一例
O-056	11230			セマグルチド投与後に診断された周期性嘔吐症の一例
O-057	11163	治療（インクレチン関連薬）②	16：40～17：20	リラグルチド導入後に多発潰瘍を伴う重症逆流性食道炎がみられた1例
O-058	11001			肥満2型糖尿病へチルゼパチド投与後, 飲酒量減少したアルコール関連肝疾患合併の3例
O-059	11025			インクレチン製剤の最大使用量からtirzepatideに切り替えた2型糖尿病症例の検討
O-060	11146			経口セマグルチドにより血糖低下および体重減少に加えて飲酒量の減少を認めた1例
O-061	11086	治療（インクレチン関連薬）③	17：20～17：50	当院でのセマグルチド(注射・経口)とチルゼパチド処方患者の臨床像とその治療効果
O-062	11212			HbA1c<7%を診療の質指標とした糖尿病薬物治療の改善の試み
O-063	11173			直腸癌術後に長期間ストーマ閉鎖が困難であったが、チルゼパチドにより閉鎖し得た一例